

じんだい

第24号

2011.4.20

発行：医療法人社団 欣助会 吉祥寺病院

調布市深大寺北町4-17-1 ☎042-482-9151
URL www.kichijoji-hospital.com



基本理念

患者様やご家族の側に立った医療
患者様の社会復帰を目指す医療
全職員相互の力を発揮できる医療



福寿草（2月下旬東京にて）

この度の大震災により被害を受けられた皆さまに
心よりお見舞い申し上げます。

contents

一年を振り返って	1
ファミリーサポートセミナーについて	2
職場紹介（A2病棟）	3
新人コーナー	5
「かぼん作りの魅力」.....	6
東八道路	7
当院のおすすめメニュー	8
外来担当表／当院略図／編集後記	9

一年を振り返って

医師 袖山 明日香

私が吉祥寺病院で勤務し始めて、早くも1年が過ぎようとしています。長く在籍していた大学病院を離れることか決まった昨年の春の頃は、新しい環境で働くということに対して期待と不安の入り混じった複雑な心境であったことを思い出します。

私は帝京大学で研修後、同大学の大学院に進みました。大学院ではデイケアに関わりながら、統合失調症患者への認知機能リハビリテーションの研究を行ってきました。吉祥寺病院は帝京大学と同様の、実行委員会方式のデイケアをもち、リハビリテーションに力を入れている病院ということを知っており、大学院で統合失調症のリハビリテーションに携わってきた私はとても興味を惹かれ、楽しみにしておりました。一方、大学の先輩医師からは、吉祥寺病院は勉強になるけれども忙しい病院と聞いていたこともあり、若干、不安の方が上回っていたかもしれません。

そんな複雑な心境で実際に勤務し始めたのですが、総合病院の精神科と単科の精神病院の違いからかいくつかの点で戸惑うことができました。うつ病圏の患者さんとじっくり向き合う傾向であった大学病院とは異なり、統合失調症圏の患者さんが大半で、また治療テンポの違いなどから学ぶところが多く、今までの自分が狭い範囲でしか診療してこなかったことを痛感させられました。

また、今まで勤務してきた病院との一番大きな違いは、統合失調症を中心とする患者さんを入院中から退院後の生活にいたるまで、他職種のスタッフや地域と連携してサポートする体制が整っているところでしょうか。統合失調症においては、いわゆる幻覚妄想状態などの急性期が落ち着いた後も、陰性症状や認知機能障害などが残存し、生活するうえで様々な困難が出現してくることが知

られています。そのような病気の性質から、急性期が過ぎたからといってすぐに普段の生活に戻ることができず、リハビリテーションを必要としたり、日常生活にサポートを要するようになることがあります。残存する障害、出現する困難の程度も人によってさまざまで、軽い障害を残すのみの人もいれば、日常生活をおくるために多くのサポートが必要になる人もいます。また、発病当初は軽い障害のみだった患者さんが、慢性の経過の中で再発を繰り返し障害の程度が重くなっていくこともあります。他にも高齢になり身体の問題が出てきた人、身近に頼れる家族がない人、慢性の経過や複雑な心因から回復に抵抗を示す人など、個々の患者さんによって抱えている問題は非常に多様です。

吉祥寺病院はその基本理念の一つに「患者様の社会復帰を目指す医療」が挙げられており、その言葉通り就労、復学などの社会復帰を目的としたリハビリプログラムから、ナイトケア、訪問看護などの日常生活のサポートまで幅広い対応ができる点が魅力的だと感じました。また意欲的なスタッフが多く、頻繁にカンファレンスをすることで個々の患者さんに合わせて柔軟に対応できるのも、この病院の大きな特徴の一つだと感じました。治療に携わる中で、なかなか順調に進まず、また困難なこともあります。塚本院長の「統合失調症に強い日本一の病院になる」という目標に向かって、私も微力ながら協力出来たらと思います。

この1年は医局の諸先生方や他職種のスタッフに支え、またご助言いただき、なんとかやってきました。皆様には大変感謝しております。これからもこの病院でさまざまなことを学び、さらに医師として成長していきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

ファミリーサポートセミナーについて

B3 病棟師長 成田 弘子

これまでに「じんだい」第21号と第23号で、ファミリーサポートセミナーの活動内容を報告させていただきました。今回は、メンバー構成と役割分担について報告したいと思います。副院長を委員長とし、社会療法科長、作業療法士2名、薬剤師1名、精神保健福祉士1名、看護部7名の計13名がチームとして企画運営しています。

〈ファミリーサポートの目的〉

- ・ご家族の皆様が正しい知識を知り、共に考え・励ましあえる場所を持つことで無用な不安や心配から解放され、より前向きに希望を持って病気に立ち向かっていけるようになること
 - ・ご家族の皆様が自分の生活も大切にして自分らしく暮らしていけるようになること。肩の力を抜いて少しでも「らくになる」こと……それが病気と長く上手に立ち向かっていく秘訣であること。
- を、8回の講義やグループワークを通して達成できるように支援していくことが私たちセミナー担当者の役割です。

〈講義内容〉

- | | |
|----------------|-----------|
| ・統合失調症を知る | 医師 |
| ・病気のプロセスを知る | 医師 |
| ・急性期と薬物療法について | 薬剤師 |
| ・薬物療法（副作用）について | 薬剤師 |
| ・障害への対処について | 看護師、作業療法士 |
| ・利用できる社会資源 | 精神保健福祉士 |

年間計画にもとづき、各回共に上記の1講義を受講します。その後グループワークとなります。

〈グループワーク〉

登録ご家族と担当職員は、メンバー固定のグループ編成となります。

職員はリーダー・コリーダー・板書・記録係りを担い、参加ご家族が、話し合いたいテーマを全員の総意とし

て、忌憚のない意見や思いが吐露できるように、全員に声をかけ、進行します。各回のテーマは実に多彩で、まさに十人十色の不安や悩みを抱えている現状を痛感します。そこでのご家族の思いを拝聴し、アフターミーティングで次のグループワークに繋げ、ファミリーサポートの目的達成に寄与します。

〈看護師としての参加の中での所感〉

ファミリーサポートって何しているの？活動状況がわからないまま、病棟からメンバーを出していましたが、現状把握のため、飛び入りで参加させていただきました。

雲を掴むような進行の中で、私はグループワークで、ご家族の痛切な声を聞いた時、カルチャーショックでした。看護部から1名のメンバー追加の話聞き、手をあげて以来参画しています。会場準備と役割分担は勿論のことですが、それ以上に大切な、「看護師としての役割」を学ばせてもらいました。ご家族の抱える不安や悩み、そして葛藤など……を。患者さんは治療の場で、毎日医療スタッフと関わり、それぞれの症状改善につながる経過があります。が、ご家族はその場がないのです。面会に来て、看護師さんが忙しそうなので声をかけられない。今状態はどんなだろうか？看護師さんに聞きたい。外出外泊と言われても不安がいっぱいで…看護師さんに聞きたいが、聞いていいのだろうか？…などなど。そのようなご家族の心境や、思いをしっかり聴き、治療に参画してもらえよう家族看護が必要なのです。多くのご家族は看護師に気兼ねし、遠慮していることもわかりました。ご家族が面会に来たときに、専門職として非言語コミュニケーション技術を駆使し、対応した看護師自らが声をかけ、病棟看護として、ご家族と向き合う姿勢や時間の確保を検討していくべき提案をし、それを実践できるような工夫をする。それが今ファミリーサポート担当看護師に求められている役割であり、責務であることを実感しています。

職場紹介 第5回

A2病棟

A2病棟師長 山本 昌彦

職場紹介もいよいよ病棟編に入りますが、その第1回目はA2病棟です。

この病棟は男性の急性期閉鎖病棟なのですが、古くからの吉祥寺病院をご存知の方は旧病棟のA1病棟が前身であることもご存知かと思います。A1病棟は男性の慢性期閉鎖病棟でしたので、実は現在も慢性経過の患者様にもご利用頂いております。急性期の患者様と慢性期の患者様が混在する病棟の悩みとして、どうしても看護者の目は症状の強い、急性期の患者様に目を奪われがちになり、慢性経過の患者様へのケアが行き届かなくなる傾向があると、私たち自身反省しながら日々の業務にあたっております。そんなA2病棟ですが、今回はスタッフの

ことも洗いざらい…とまではいかななくても少し紹介させていただきます。

A2病棟のスタッフと接して、みなさんはどう感じますか？女性はエレガントで優しいキャラクター揃い（私の正直な気持ちです、ハイ）ですが、男性スタッフは見た目厳つい印象を受けるかも…と、少し心配しています。しかし、実際に接して頂いた方々はご存知かと思いますが、内面は誰もが意外と（失礼！）優しい輩ばかりなんですよ。襟元をしっかりと閉じて、髭をキレイにすれば外見も中身もパーフェクト…と思っています。

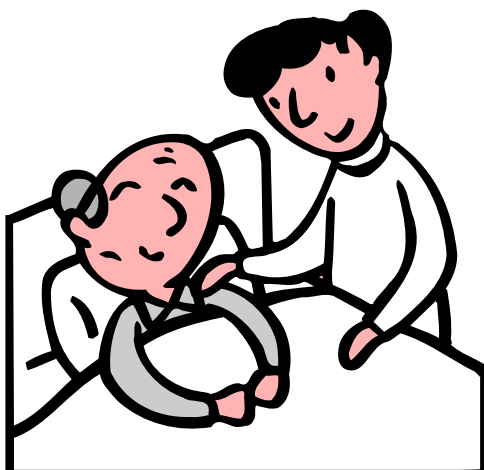
業務の方はどうかと言いますと、日々のケアは病棟を病室別に3箇所に分け、スタッフも三



つのグループに分かれてあたっていますが、その3箇所それぞれの看護必要度は日々変動しています。しかし、この病棟で一緒に働けば誰でも感じる事ですが、いずれかのグループが大変な状況になってもそのグループだけが苦勞して辛い思いをするということはありません。急な入院があったり、何か問題が発生したとしても、全体で役割を分担し、短時間で業務を遂行してしまいます。頼まれなくても、言われなくてもグループ同士が連動して助け合うというチームワークが出来上がっています。夕方に問題が起きた時には“自分が残る”と率先して残業を申し出たり、退勤するよう言われるまで待機する姿勢に実はいつも感動しています。職場の出来事に対して各々が責任感を持ち、自分に出来る

こと、すべき事は何かと常に考え、対応しようという姿勢をとっても誇りに思います。大変な時に力を合わせて協力する、言葉で言うのは簡単な事ですが、自分の守備範囲外の事を感じ取り、気付いて助け合うことは意外と難しいことではないでしょうか。

良いところばかり書きつづっていますが悩みもあります。和気あいあいとしすぎて時に仕事中心であることを忘れてしまいそうになることもあります。良いところからすれば些細なコトですが、ここは是非とも改めなければと思う今日この頃なのです。おっと、ここで文字数いっぱいになってしまいました。次回はA3病棟です。どうかお楽しみに。



新 人 コ ー ナ ー

吉祥寺病院に入職して

A2 病棟看護師 HK

吉祥寺病院 A2 病棟に入職して早 1 年が経ちました。以前は脳神経外科で働いていました。2 次救急の大学病院ということもあり、状況に合わせて、いかに早く効率よく仕事をこなせるかを常に考えながら働いていたような気がします。脳神経というくくりで、精神科の入院も引き受けている病棟であり、そこで精神科患者様や精神科医師と関わり、精神科に興味をもったことが入職のきっかけになりました。

入職当初は、それまでに関わった精神科患者様が症状の軽い躁うつ病の方が多かったこともあって、対応に大変苦労したことを覚えています。しかしその反面、患者様との関わり一つ一つが看護に繋がるということが、とても新鮮にも感じました。以前は点滴・清潔ケア・手術などに追われ、座る暇なく働いていましたが、こうして十分に患者様と関わる時間を持てることが精

神科の魅力の一つだと思います。また、ルーチンワークよりも患者様との関わりが主となることもあり、対応や看護に各看護師の個性が出やすく、とてもおもしろいなと感じています。患者様との関わりを通して自分を知る 1 年でもあったと思います。



まだまだ未熟ですが、先輩方の姿を参考にし、日々成長していけるように努力していきたいと思っています。また、自分を知り、患者様を知り、お互いの関係性を知る事で、自分なりの看護を提供できるような精神科看護師を目指していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

吉祥寺病院に入職して

A4 病棟看護師 MO

私が吉祥寺病院に入職してまもなく 1 年が経とうとしています。去年の今頃は、精神科という初めての分野や新しい環境に馴染めるか不安でいっぱいだったのを覚えています。

以前は大学病院の混合内科に勤務していました。もともと精神科に興味があったので、時間と業務に追われながらも精神面のサポートをおこたらないことをモットーにして働いていました。しかし現実問題それは容易なことではなく、精神科看護をきちんと学びたいという思いが強くなり転職を決意しました。

この病院で働き始めてまず感じたこと、そして今も感じていることは、スタッフがとてもおびおびと仕事をしていることです。患者様への対応の仕方や業務のこなし方、どのように看護介入していくか等それぞれの個性が色濃く出ているが、方向性がバラバラというわけではなく目指すゴールは同じ。まさに「こういう看護がしたかった！」と思えるような環境でした。し

かし今まで時間通り、マニュアル通り、先輩の言う通りに仕事をこなしてきた私は、突然そんな自由な環境におかれたことで自分がどのように行動したらいいのかわからずとまどうことばかりでした。精神科に限られたことではないですが、看護にはこれが正解というお手本がないので患者様の対応をしながら「これでいいのかな？」と不安になる事もしばしば。患者様との関わりや先輩スタッフのご指導のおかげで少しずつ環境に慣れ始め、自分で考えて行動するとは？自分の個性とは？患者様のことを考えると？と日々自問自答しながら仕事をしています。

精神科看護は、患者と向き合うのはもちろん自分自身とも向き合う場面が多く、考える事や気付く事がたくさんあると日々感じています。これからもそうした経験を積み重ね、物事の視野を広げつつ成長していきたいと思っています。

「かばん作りの魅力」

地域移行推進室 花立 幸代

「あ～、5ミリも違いますよ～」。

月に1回通っているかばん教室の先生に私が、よく言われる言葉です。

小さい時からかばんと袋ものが大好きでした。社会人になってからは、かばん売り場に足しげく通い、吟味する日々。しかし、なかなか全て合格点というかばんには巡りあえず、どこか妥協していたような気がします。

自分で作れたらいいのにな、果たして作れるものなのかな、という思いが湧いてきたとき、かばん作りをしている人に出会いました。その人は、自分で製作したかばんをホームページに載せて販売し、今では、教室を開いています。

そして、その人が、通っていたかばん教室に行ってみることにしました。

——6年前のことです。

基礎コースからの入門で、最初は先生の用意した3つの作品を作っていきます。その後、自分が作りたい作品へと取りかかっていきます。

デザインを考え、型紙をおこし、革の裁断、ミシンがけとすすんでいきますが、一番大変なのが、型紙作成です。

私は、細かい作業が苦手で、よくこの工程で注意されてしまいます。「どうしてこういうことになるのかな」と、先生の頭を悩ませています。その度に、失敗にするのではなく、冷静にやり直す方法を見つけだしてくれます。失敗が、よい持ち味に変わることもあります。不思議です。

もう1つ不思議なのは、同じものを作るにしても、多数の方法があるということでした。1つのやり方では、こういう出来上がりになり、でも、ちょっと技術がいる。もう一方なら、工程は楽だけど、補強力は弱いかな、といったように。そして、話し合い、どちらの方法を選択するかを決めていきます。

この方法が、今、私の担当している退院促進や地域移行、地域支援にとってもよく似ていると、感じます。

退院支援には、いろいろな方法があり、その人の持つ日常生活動作や、持っている能力により、さまざまな支援を組み立てていきます。

出来なかったことが失敗ではなく、できる方法を見つけだしていけばいいのです。

その方法を一緒に考えてくれる支援者と仲間がいれば、ひとりの市民として生活していけるのだと思います。

私のかばん教室でも、生徒仲間で声をかけあっています。「私も、同じことしちゃったよ」「全然、曲がって見えないよ」「素敵にしあがったね」。

そんな、仲間たちといつか作品展を出すのが私の夢です。



筆者作



景気の低迷がなかなか改善されないそんな中に、突然の東日本大震災にみまわれ、先の見えない混沌とした世情のうちに新年度が始まった。世間では、学校を卒業した新人たちの旅立ちを知らせる入社式の報道が目立っている。そのあと、この新人たちは『社内での研修』を受けることになるのが恒例である。当院でも、この月のはじめから新人研修会が開催されている。この研修会のスケジュールを見せてもらうと年々内容が充実してきている。病院の理念・方針もはっきりして、各職場での各月の目標の設定がなされ、職場によっては業務のマニュアルもすっかりと

作成されている。こうしたものが実際、どのように具現されているのかに思いをはせる。▼時折行く近くの外食チェーン店では、客が出入りするときに、店の入り口に近いところにいる店員が、『いらっしゃいませ』あるいは『ありがとうございます。またのご来店をお待ちします。』と、大きな声で言うと、店の奥の人もこれに続け声を出す。はじめのうちはとても好感をもち、よく教育されていると感心していた。ところが、あるとき入り口で声を出している人をみていると、お茶でも入れているのだろうか下を向いて声を出している。それからというものの出入りのたびに観察をしてみた。皆が皆ということではないが、声を出すことがマニュアル化されているのだろうか心がこもっていない。願わくば、顔を合わせる少しの間くらいのサービスが欲しいと思うのだが。▼私たちも窓口や受付

の見えるところにおいて、用事で訪れる人々に、いち早く気づき、相手から満足される応対をしているだろうか。仕事が忙しいとか、窓口の人の役目だとして、気づかいを怠っていることはないだろうか。訪れる人に、満足してもらうために、常に窓口に気を配り、日頃から来訪者にどう反応するか心の準備をし、窓口の人が立ったとき、席を立ち、声をかけるという実働が必要と思うのである。▼理念・方針・目標の設定がなされ、業務のマニュアルが作成されて、これらが教育・研修・印刷物の配布等で徹底されている。私たち個々がこれを理解し行動することは重要である。その実行のとき、身近にある事柄に『気配りをする。心配りをする。声かけをする。』というごく当たり前のことであってなかなか出来ないことを付け加えてみてはと思うのだが。

(游衍子)

〈当院のおすすめメニュー〉

絹さやと春雨の菜種和え



●一口メモ●

「菜種和え」とは卵に好きな味をつけ、細かい「そぼろ」状にしたものを「菜種（菜の花）」に見立て、ゆでた青菜とあえたものを言います
春を感じさせる和えものです

一人分
Kcal 63kcal
塩分 0.4g

1人分（分量）

絹さや	30 g	
春雨	5 g	
卵	1 / 2 個	A
砂糖	小さじ1弱	
醤油	3 g	B
砂糖	1 g	

●作り方●

- ①絹さやはゆがいておく
- ②春雨は熱湯でもどして食べやすい大きさに切る
- ③卵に砂糖をいれていり卵を作る
- ④①・②・を合わせてBの調味料をからめる
- ⑤③を加え、軽く和える

●ポイント●

絹さやの代わりにほうれん草や小松菜、にら、アスパラガスでも良いです

この時期の菜の花を使うと季節感がより一層高まります

菜の花の苦みが苦手な方や子供には、マヨネーズを加えることで食べやすくなります

マヨネーズの量は1人分小さじ1 / 2位です

平成23年度4月からの 医 局 担 当 表

	月	火	水	木	金	土
新 患 ()は担当週	岡田(第1・3・5週) 渡辺(第2・4週)	森	市川(第1・3・5週) 山室(第2・4週)	田澤	西岡(第1・3・5週) 土井(第2・4週)	袖山(第1週) 佐藤(第2・3・4・5週)
外来管理医師	田澤 森	山室 田澤	岡田 渡辺	西岡 岡田	佐藤 市川	森 土井
診察室(1)	原藤	院長	原藤	小木	原藤 / 金井	原藤 / 水落
診察室(2)	渡辺 / 岡田	市川	渡辺	市川	市川	亀山
診察室(3)	田澤	西岡	西岡	田澤	西岡	西岡
診察室(4)	森	森	市川	土井	森	森
診察室(5)	袖山 / 市川	山室	山室	山室	袖山 / 大橋	山室
診察室(6)	土井	土井	岡田	佐藤	岡田	佐藤 / 袖山



— 受付時間 —

新患 月-土
午前 9時15分～11時
午後 1時～3時

再診 月-土
午前 9時15分～11時

〈編集後記〉

甚大な被害をもたらした東日本大震災。悲惨な被害状況にただただ心が痛みます。被害にあわれた皆様に心からお見舞い申し上げます。そして一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。(H)